

輝け瞳

2025 2月号

これが「処遇改善」? 開いた口が塞がらない!!

本末転倒の自公政権25年度予算案

教職調整額を引き上げる財源は諸手当の廃止・縮減??

- ▶ 25年度予算案では教職調整額を1%（月3000円程度）引き上げるために22億円を計上（実施は26年1月から）。その財源として、現行平均1.5%の義教手当を1%に縮減、複式学級の担任向けの多学年学級担当手当を廃止するとしています。両手当の廃止・縮減額として合計11億円を見込んでいます。
- ▶ これを差し引きすると、月わずか1500円程度の給与改善にすぎません。教員の平均残業時間は政府の低い算定でも月47時間です。残業代に換算すれば月十数万円になります。これでは全く「処遇改善」になりません。
- ▶ 財務省は、教職調整額を段階的に10%まで引き上げた上で残業代制度へ移行すべきだと主張しています。必要な財源は教員向けの各種手当の廃止・縮減で生み出すべきだとし、将来的には残業代に一元化する（諸手当を全て廃止する）よう提案しています。
- ▶ 各種手当では残業代とは無関係ですが、仮に同省案通り手当が残業代に一元化されると、教員の給与は残業しなければ現在より低くなります。手当の合計は給与の9%に相当するとされ、介護や子育てなどで残業できない教員は給与の約1割、年間数十万円の減収になります。

《部内資料》

宇治久世教職員組合
 宇治市大久保町上ノ山29-1
 Tel 0774-44-6191
 Fax 0774-44-8026
 Mail ujikuse@khaki.plala.or.jp



義教手当について

【中教審答申R6.8.27】

人材確保法の趣旨を踏まえた処遇改善の完成時（昭和55（1980）年）には、一般行政職に比した優遇分について、約7%まで引き上げられたことを踏まえると、教師の業務の複雑性・困難性が以前より増大し、教師不足等の課題も指摘される中、教職に優れた人材を確保する必要性が一層高まっている。現在の状況においては、当時の優遇分と同程度かそれ以上の措置を講じることについての社会的な理解は得られると考えられる。

定数削減して「定額働かせ放題」を助長するつもり??

- ▶ 昨秋、宇治久世教組が実施したシール投票の結果にある通り、私たちの願いは「教職員を増やして定時に退勤したい」です。
- ▶ ところが、右表にある通り来年度予算案では、差引8,757人の定数削減です。自公政権は、13年年間で計4万人近く定数を削減してきました。
- ▶ これでは長時間の時間外勤務が解消されるはずもなく、“超ブラック職場”、“定額働かせ放題”を助長するつもりかと言われても仕方がありません。

25年度予算案	定員増	定員減
小学校の教科担任制拡充	990	
小学6年生の35人学級化	3,086	
日本語指導のための基礎定数化	551	
中学校の生徒指導担当教師の配置拡充	1,000	
多様化する課題への対応	200	
子どもの減少に伴う自然減		5,638
学校統廃合に伴う定数減		1,760
35人学級化に伴う加配定数振り替え		1,305
チームティーチングのための加配の配分見直し		100
教員平均給与と単価の算定方法見直し		1,450
定年引き上げに伴う特例定員の廃止		4,331
合計	5,827	14,584
差引		-8,757
【参考】 R5年度 全国の公立小学校数		18,669
同 中学校数		9,095

組合員を増やして運動を進めましょう

- ① 義務標準法の改正による定数増を要求しよう
- ② 小学校における週あたりの授業コマ数削減を要求しよう
- ③ ペナルティーとしての割増の時間外勤務手当支給を要求しよう

教育請願署名ありがとうございました

- 宇治市むけ 1447筆
- 城陽市むけ 668筆
- 京都府むけ 2178筆
- 国むけ 2283筆

残念ながら、宇治市、城陽市とも請願は不採択となりました。主な反対理由は、①国が責任を持つべき ②財政負担が大きすぎるです。署名集めや意見陳述にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。なお、詳細は各議会のYouTubeチャンネルでご覧いただけます。



京教済は教職員のための共済です。

掛け金600円/月で退職時に全額返金される総合共済は結婚、出産等の祝い金、災害時の見舞金等が給付されます。
 ◎自動車保険…充実の補償と安心の事故対応、24時間



365日事故受付で教職員をしっかり守ります。